

特殊詐欺! どんな電話がかかってくるの!?

昨年(令和元年)の都内の特殊詐欺被害額は約**75億9,000万円**。

「詐欺なんて他人事」「わたしはだまされない!」と思いませんか?
特殊詐欺は、誰もが被害者になりうる犯罪です。どんな電話がかかってくるのか、最近の事例を紹介します。

事例1 ○○円、払い戻しがあります
「**還付金詐欺**」という手口です。

医療費や年金、保険料などの還付があるという電話がかかってきます。電話で指示されたとおりにATMを操作すると、お金をだまし取られてしまいます。



こんな言葉には要注意

- ⚠ 還付金を受け取るための手続きの期限は今日までです ⚠ 今なら間に合いますよ
- ⚠ ATMで手続きできます。方法を教えますので、ATMに着いたら電話をしてください

還付金を受け取るため、ATMを操作するように指示されても、決して従ってはいけません。

ATMでは、還付金は受け取れません。

事例2 自宅に、現金はいくらありますか?
いわゆる「**アポ電強盗**」です。

犯人は親族や警察官、役所職員などのふりをして、自宅の現金保管状況を言葉巧みに聞き出そうとします。家に現金があることを話してしまうと、押し入れられ、現金を強奪される恐れがあります。

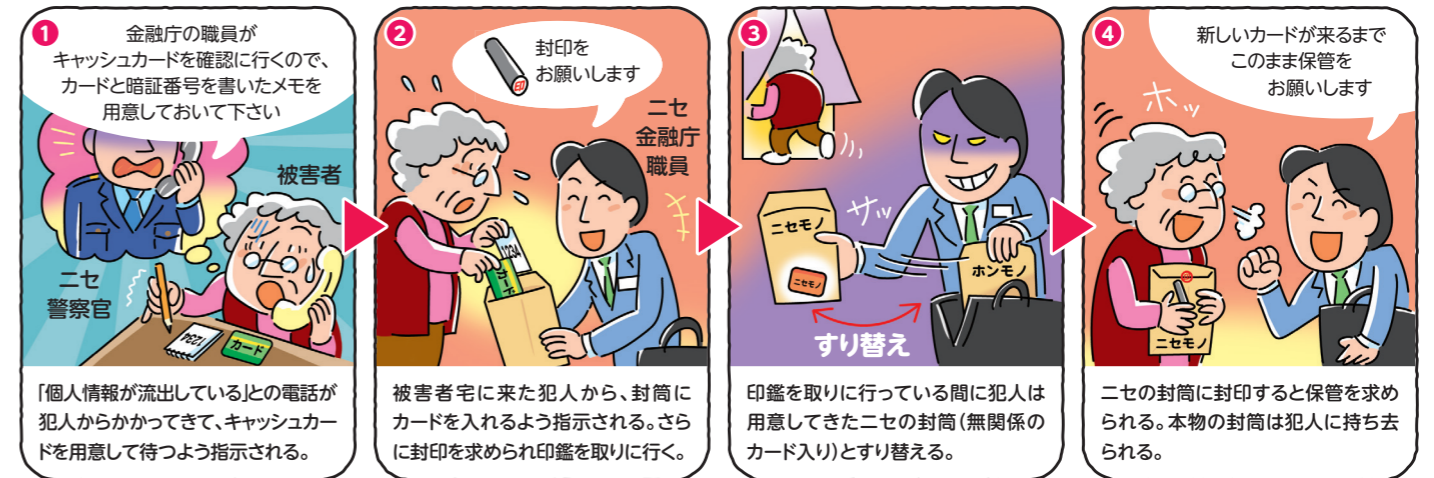


こんな電話がきたら、どうすればいいの?

お金の話になったら、一旦電話を切りましょう。
まずは落ち着いて、警察、ご家族、ご友人などに相談してください。

事例3 キャッシュカードを用意してください

キャッシュカードをすり替えて盗み取る手口です。



「あなたの個人情報が流出している」「キャッシュカードを新しいものに交換したほうがいい」
なんて言われたら、焦ってしまいますね。しかし、信じてはいけません。

特殊詐欺にあわないために、皆さんができること

①留守番電話機能を使う

詐欺犯人は、電話に自分の声が録音されることを嫌います。詐欺犯人と直接話をしないために、「留守番電話機能」をおすすめします。在宅中でも留守番電話設定にして、録音されたメッセージと相手を確認してから、必要であれば、折り返すようにしましょう。

★警告メッセージ後に通話を自動録音する機能や、着信拒否機能などを備えた「迷惑防止機能付電話機」もおすすめです。(家電量販店で購入できます。)

②家族でしっかり話し合う

日頃から特殊詐欺の手口について、家族で話をしたり、「合言葉」を決めておくことが大切です。

今回ご紹介した特殊詐欺の手口を掲載しています。
「特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京」を、ぜひご覧ください。



覚えよう! 防犯標語

いかのおすし

「いかのおすし」は、誘拐などの犯罪から、子供達を守るための標語です。親子で一緒に覚えましょう。

警視庁ホームページでは「いかのおすし」パンフレットを掲載しています。



ついていかない

車にのらない

あいてが知っている人でも、ついていったり、車に乗ってはいけません。

おおごえをだす

声をかけられたとき、「こわいな」「いやだな」と思ったら、大きな声でまわりに助けをもとめましょう。防犯ブザーをならすことでも、同じ効果があります。

すぐにげる

こわいことがあったら、すぐに大人がいるところに逃げましょう。(警察署・交番、コンビニエンスストアなどのお店、子ども110番の家など)



おとなの人に知らせる

こわかったり、いやだったことがあれば、おうちの人や、学校の先生など、大人にすぐに話しましょう。



テロ根絶のために!

こんなときには警察にご連絡を!

「いつもと違う」「何かおかしい」と感じたら、迷わず通報をお願いします。テロを未然に防止するため、警察の各種活動に皆さんのご協力をお願いします。

地域住民の皆さんへ

- 近隣から薬品や火薬の臭いがする。
- 工場でもないのに大量の葉ビン等を家庭ゴミとして出している。
- 見かけない人が、防犯カメラの位置や建物の様子を確認しながら撮影している。

事業者の方へ

- 購入目的や利用目的が曖昧である。
- 薬局・ホームセンター等で、大量の薬品や肥料を購入しようとする。
- 電話やメールで大量の薬品や肥料に関する問い合わせがあった。



「鬼平犯科帳」を起用した動画とポスターを作成しました。動画はこちら。

